

東京須覧具

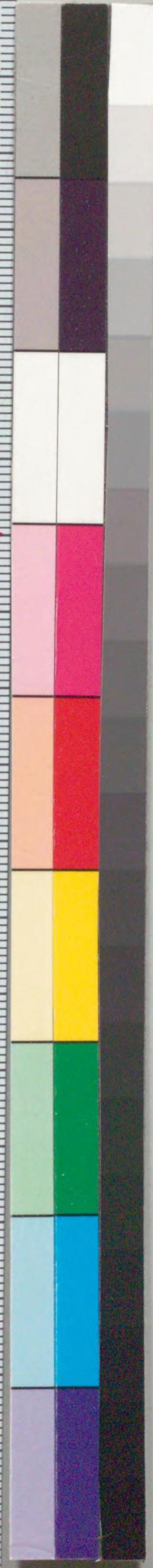
木ら也

W57  
29

共冊

四止

大槻文庫





マ

まらぬ 待合  
まらぬ  
まらぬ

W57  
29

まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ
まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ	まらぬ



82W48421



まぶらまへん

まへまき

まはす

まへびき

ます

まほし

ませうせ

まざう

まげろ

まひりけ

名

名

名

名

名

十字ヲ曲ル 質ニオシ

〇

まひりけ

ま

まひ

まらたけ

ままと

まほ

まほよ

まへがまん

まらあひ

まかき

まめ

まめざう

再





まじまじ 真面目

まはち 萬八

まぐ 連ラー

まはし 好

またび 踏火

まろ 万

まきろぼう 言

まきろぼう

まきろぼう

まきろぼう

まじやく 子あはぬ 河天

まある 横濱 屋外ニ出ル

まろ 万 万に元斗七A斗七・何邊兵新少輔・此・此用善萬千ニ入たし

まろ 眉毛

まろ 即郎師

まろ 待合

まろ 懐中時計(指摺、隠語) 在ホト

まろ 吉章 遊女屋ニ店ノ格子 幅七寸・朱塗(間口十三間奥行二十三間)九寸大

まろ 大一・半一 略(大町店)小格子(又河津店)長屋(又切見世)順三以上

まく 幕 行傳 千ヨシ

まろ



まげ ちやげ まみえ

まみえ まやげ

まきまげ

まんじり

まっか

まじろまじろ

まじろたり

まじろまじろ

まじろ

まじろ

まじろ 忍身附

まじろ

オーチン

まじろ

まじろ 名代 妙極まはし

まじろ

オーチン

まじろ

まじろのたまひな



みまふい

みまふい

みせがり

熟らぬノ草を若草ニ寄寓し其家ノ奴よりテ被ッ  
衣乞フ自弁テ其屋掛ヲ掛テテ免ナリ  
吉原ニハシトフ 一人者ニテ其モ持テス

みぢや 痘痕 葉巾

みぢや 身方 姓様

みぢちい 扇番 コトマカニ

みぢちい 外見

みぢちい 外見

みぢちい 外見

みぢちい

みぢちい 外見

みぢちい 外見

みぢちい 外見

みぢちい 外見

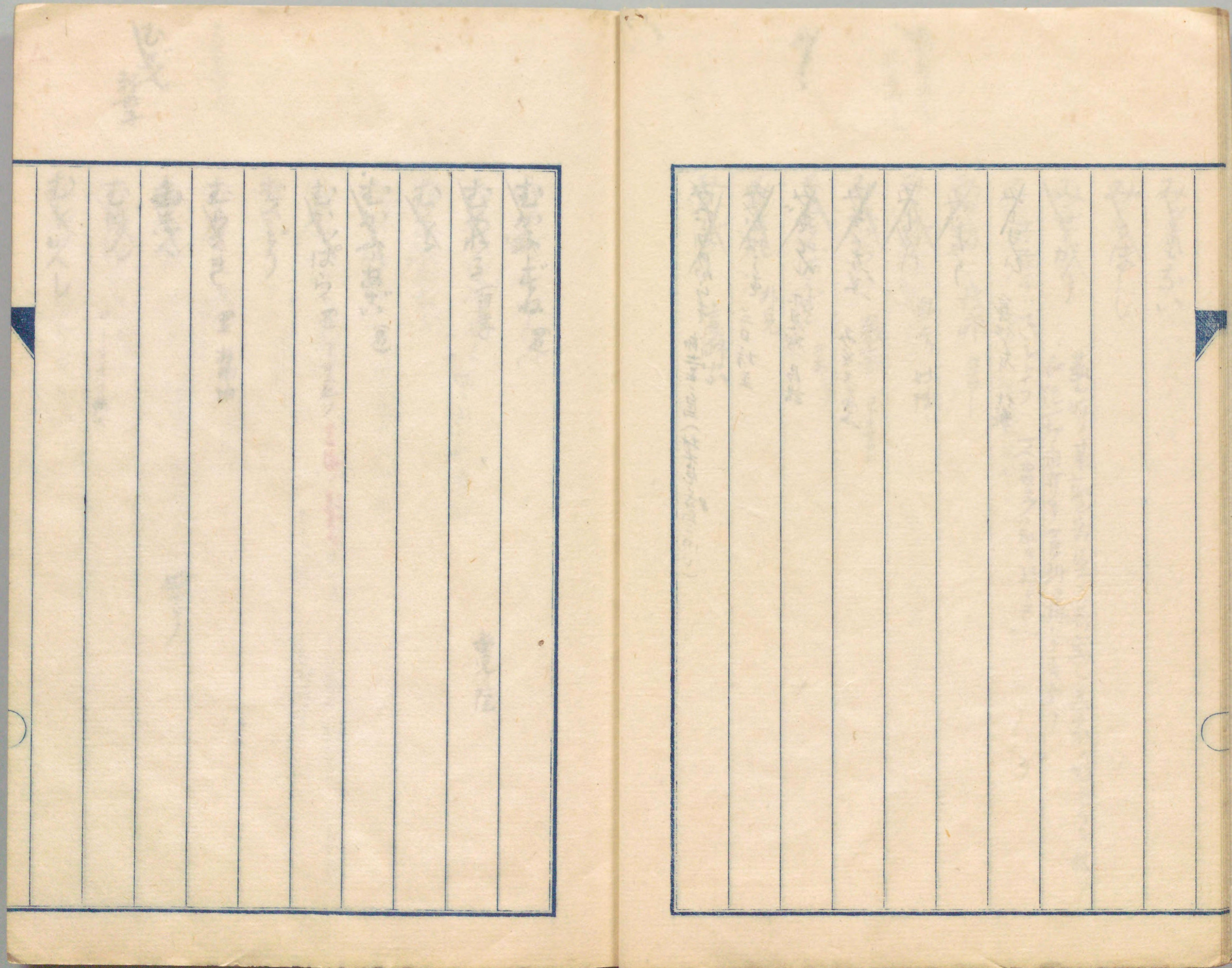
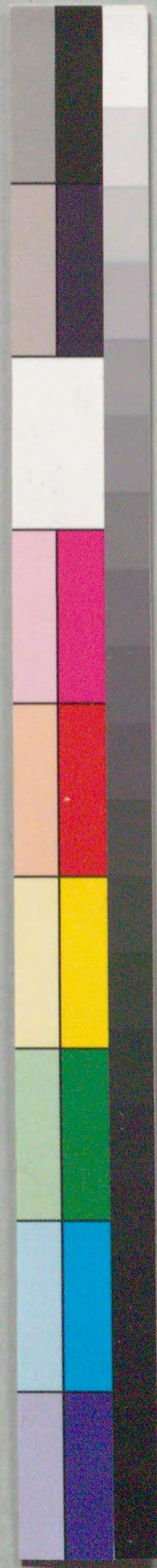
みぢちい

みぢちい

みぢちい 身仕 化粧

みぢちい







ム

むぎ  
松葉子

むぎくし

むぎん

ローチオニス

むぎん

むぎん

むぎん

むぎん

むぎん

むぎんばら 忍一ヲエツ 言ハシム 玉かむら

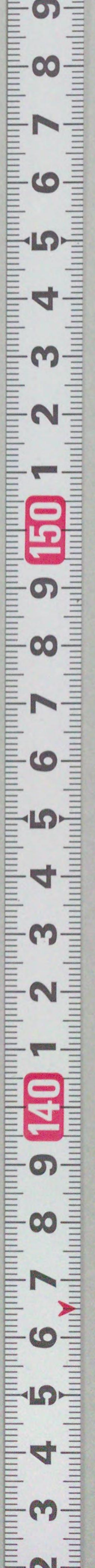
むぎん

むぎん

むぎん

産院

むぎん





むちうきぐざるとん

むかふづら

むやみ

むきやくヒヤ

むくと

むし

むかむちう

むせつほう

むかうをほろ

むきうーやたら

○ーンセいで  
ーが承知しふい  
ーヲ殺ス 堪へズブーヲ手本サ

向はる博奕語

むきや

むしあやぢう

むがむづら

むちやくちや

むわらちや

むかふづら

むかふらとる

むきめし

むしきさち

むきばち

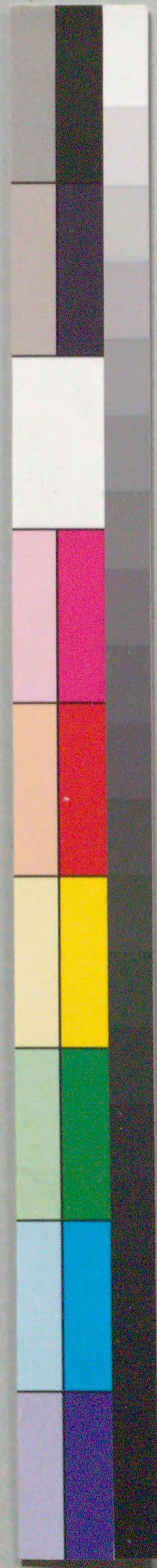
むかい

娘師 土花耐 盜賊 博  
ヤジリキリ

虫ヲ殺ス 堪へズル 虫ヲ殺サヌ 意地深イ

博奕 六二七





10月2日  
 10月3日  
 10月4日  
 10月5日  
 10月6日  
 10月7日  
 10月8日  
 10月9日  
 10月10日  
 10月11日  
 10月12日  
 10月13日  
 10月14日  
 10月15日  
 10月16日  
 10月17日  
 10月18日  
 10月19日  
 10月20日  
 10月21日  
 10月22日  
 10月23日  
 10月24日  
 10月25日  
 10月26日  
 10月27日  
 10月28日  
 10月29日  
 10月30日  
 10月31日

10月2日  
 10月3日  
 10月4日  
 10月5日  
 10月6日  
 10月7日  
 10月8日  
 10月9日  
 10月10日  
 10月11日  
 10月12日  
 10月13日  
 10月14日  
 10月15日  
 10月16日  
 10月17日  
 10月18日  
 10月19日  
 10月20日  
 10月21日  
 10月22日  
 10月23日  
 10月24日  
 10月25日  
 10月26日  
 10月27日  
 10月28日  
 10月29日  
 10月30日  
 10月31日

10月2日  
 10月3日  
 10月4日  
 10月5日  
 10月6日  
 10月7日  
 10月8日  
 10月9日  
 10月10日  
 10月11日  
 10月12日  
 10月13日  
 10月14日  
 10月15日  
 10月16日  
 10月17日  
 10月18日  
 10月19日  
 10月20日  
 10月21日  
 10月22日  
 10月23日  
 10月24日  
 10月25日  
 10月26日  
 10月27日  
 10月28日  
 10月29日  
 10月30日  
 10月31日









めんく  
工面ノ倒

めんぼ  
四段ノ

めんち  
めんち

めえど  
毎々

めん  
面  
ローザイ  
ローザルイ

めのくろたま

めをさうふ  
都下ノ氣味ツキ

めむ  
北  
女

めかす  
心振シ美服ニ飾ル

めさう  
めさう

めし  
妻

めげあ  
四段ノ

めどはふ  
極々近クニ居ル

めり  
一ガタツ

め  
減

めしまり

めきき  
一ガキ又一ガキマ  
ローソク

めえりやす

めぼ  
目眩子

めけ  
めかす  
艶装

めた  
北犬

めからほふニ  
めけ

めさ  
氣が





めじ 人カ車ノ語めつたノ處ヲ見ルベシ

めぢやい あ免下さい

めとは子のさま

め・を み・を

めをろ みをろ

めや花 千玉相方

めのたま 目玉 一にゆき程吐き  
一を舌よ吐き

めをく

めまき

めまき 目扱ノ場所



之ん<sup>点</sup> (名) 肉食ラ<sup>点</sup>之<sup>点</sup>之<sup>点</sup> 猪鹿等肉<sup>点</sup>之<sup>点</sup>食<sup>点</sup>之<sup>点</sup> 此<sup>点</sup>キ<sup>点</sup>之<sup>点</sup> 思<sup>点</sup> 慮<sup>点</sup> 注

之ん<sup>点</sup> 田舎者<sup>点</sup> 畏<sup>点</sup> 慮<sup>点</sup> 注

之ん<sup>点</sup> ぞう (名)

之ん<sup>点</sup> あげろ

之ん<sup>点</sup> あがる

之ん<sup>点</sup> じやく

之ん<sup>点</sup> び (名)

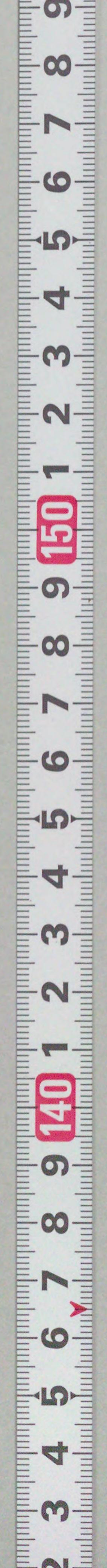
之ん<sup>点</sup> ぶ

之ん<sup>点</sup> ぶ

之ん<sup>点</sup> ぶ

大正十一年四月十日

Blank lined page with blue horizontal ruling.





もぎよう 木真溝ノ腹ニ木真ヲ釣リヌクヨリ女孕ニダフ

もむたぶ

もむ車夫

もぢる

もぢちや

もぢふ

もぢちやく 巻ふ

もぢちやく 洞着

もぢちやく 餅屋

もぢちやく 密書

もぢちやく

もぢちやく 一ひき百姓引堂陸ノもぢちやく 〇榎 榎槿

もぢちやく

もぢちやく ちやくちやく

もぢちやく 鹿肉

もぢちやく

もぢちやく 口サセテ





Handwritten Japanese text in a ledger format on two pages. The text is written in blue ink on aged paper. The pages are numbered 140 and 150. The text includes names and dates, such as '大正十一年' (Taisho 11) and '大正十二年' (Taisho 12).





やほぢやう 八百長

やぶらう 地味、懐中拳

やとよ

やばし ヤバウ

やまけら 破

やまぐ 破

やらう 夜郎

やさて 約束手形ノ界

やまッほい

やほッほい

八百長

やまだい 芝居ノ出語り

一あたま

ヤッけさ ヤウツ

やる(義)行フ

やらかす(義)マルノ

やッつけた(義)カリツル

やたいち(義)置居風屋 矢大沖ノ池

やまの(義)かみ(義)山ノ汁 芝居

やま(義)しら(義)山ノ鏡

や(義)ら(義)る(義)巻(義)銀(義)大工

やみ(義)忍(義)人(義)事(義)業(義)三錢ナリ(義)六ノ所ヲ見ルベシ

やき(義)もち(義)言

やく(義)姫(義)姫

やくトモイフ

やく 役者界

ヤ

やまだし 二海





やめて

やめてる (西義)

やかん 盆華鏡 毛頭

やち 盆 願 親父

やぢ 盆 願 親父 僅マキメ品物ヲヤツタクトシテ 青物市場

やけ

やけま 盆 泣棒杖

やぶ

やま 盆 一えん

やし 盆 一えん

やま

やま

やま 山

やは 矢場楊弓

やせ 盆

やせ 盆 たい 盆 を たたく

やせ 盆

やせ 盆

やせ 盆

やせ 盆

やせ 盆

やま 盆 一カマール一カマール

やま



やまがまをる

又物ノ綴ハヨリシク

やまざ

八九三凡庸ニ王ノ位ナハテ引キ又九ヲ引ク七トル又三ヲ引ク二十三ニ足ズツブレ

やちあふ

やかいまつかい

やま

の八百屋ノ請ニ録五層ヲラウバクノ所ヲ見ルベシ

やま

や

やいのやいの

恋ヲシカケルニ

やま

焦慮

やま

やり

拮据徑路

やあが

やはむ

ローヲ負フ

先ハ一ダ

やたら

やく

役者

やん

やん

やま

やろ

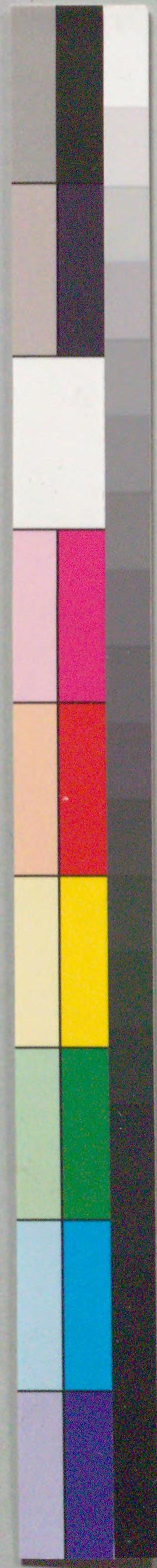
やちま



やうせうかん  
 やびつまり 見え  
 やつら ユリカニ  
 やく  
 やつら  
 やつたり

やぶかろうぼう  
 やふんび  
 やじうま 酒や  
 やまだし 亭 出  
 やじうま 酒や  
 やまのほい えい  
 やせらほし  
 やせうて  
 やせきよたい  
 やどりま おん  
 やかむ えい  
 やにつたい  
 やまわし  
 やたら  
 やり 人車 詰められた所見ルレ  
 やほ  
 やつほい





卷之三  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十





夜鷹  
夜鷹  
夜鷹

よびて 画 夜鷹 夜鷹 夜鷹

またか 夜鷹 夜鷹 夜鷹

またかまば 夜鷹 夜鷹

よめめや (西國ノ四ノ百屋ヲ云々) 湮具ハソクノ類

あまのう 四百

あせ忍人等卒

よまひつら

よだくれ

よたんぼう





よむよむ

よがる

ようを

よもや

よつんぼひ

よほひ

よせ

よせ

よせ

よせ

オーガイ

オーカ

オーニカ

四信 西寺西足三信フイ

夜極 夜極ハフ多クハ 物草仲の所ニ極ニラフ

鹽谷利官ニまき事由ま一とふ有極ニ

言体 せき

よかひ 餅汁

よあ

よひ

よか

よぢ

よめ

よたよたらう

横目四ノ一真河岸ノ符丁

興太郎









150  
 140  
 130  
 120  
 110  
 100  
 90  
 80  
 70  
 60  
 50  
 40  
 30  
 20  
 10  
 0

国立国会図書館 東京須覧具 W57-29  
 ガラス使用



りえんをばく (百善)

りまつばい 形

りあけ 利子ノ

りせん六 〇武士

りえのたま

りき 利食米商ノ語 賣買ニ利アリテ賣買ニ戻シラナレ其利ヲ取レル  
仕舞商内ヲイフ

りくと 外懐 (梅棹ノ隠語)

りやうがい りやうかく

りまつばい びん

り





32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50

150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170





114

子吃 錢  
 類元友を以て集ま  
 子吃 盲字符下、か子ノ例







12

水六 是ノ倒  
 水六 志き  
 水き  
 れるれろ  
 せんぢう 連中 芝女









口

ろくたま

ろくたま 筆致 横江 志 志

ろくたま

ろくたま 〇ー見ナリ 〇ー知ラヌ

ろくたまがまはらぬ

ろくたま 人カ事 語ニ録ナリ 伏ノ所ヲ見ルニ

ろくたま 石一かまひしせす

ろくたま

ろくたま 〇す 〇牛ノ

ろくたま

ろくたま









やせく

ーソイフ

やまあし

やまき

やま

やま

やま

の割谷ノ野キヲイフ春ハダ

のんき布

ややかす 西意 笑ス

やまをうける

やま (百意) ツケトケヨル

やま 忍 牛店





わかろうや

わかろうや  
鉄ヲ出サシ

わろ

わんぱく

わんぱく  
笑信

わね

わね  
○中々ニ  
遊女屋の仕造が自分方の上客を五日乃至十日その他へ奉り込むこと受け  
方をうけしむ

わかさう  
遊女

わたせう

わたせう  
攝フモカ  
口後出列池ノ着割ノ條、醒睡

わかさう

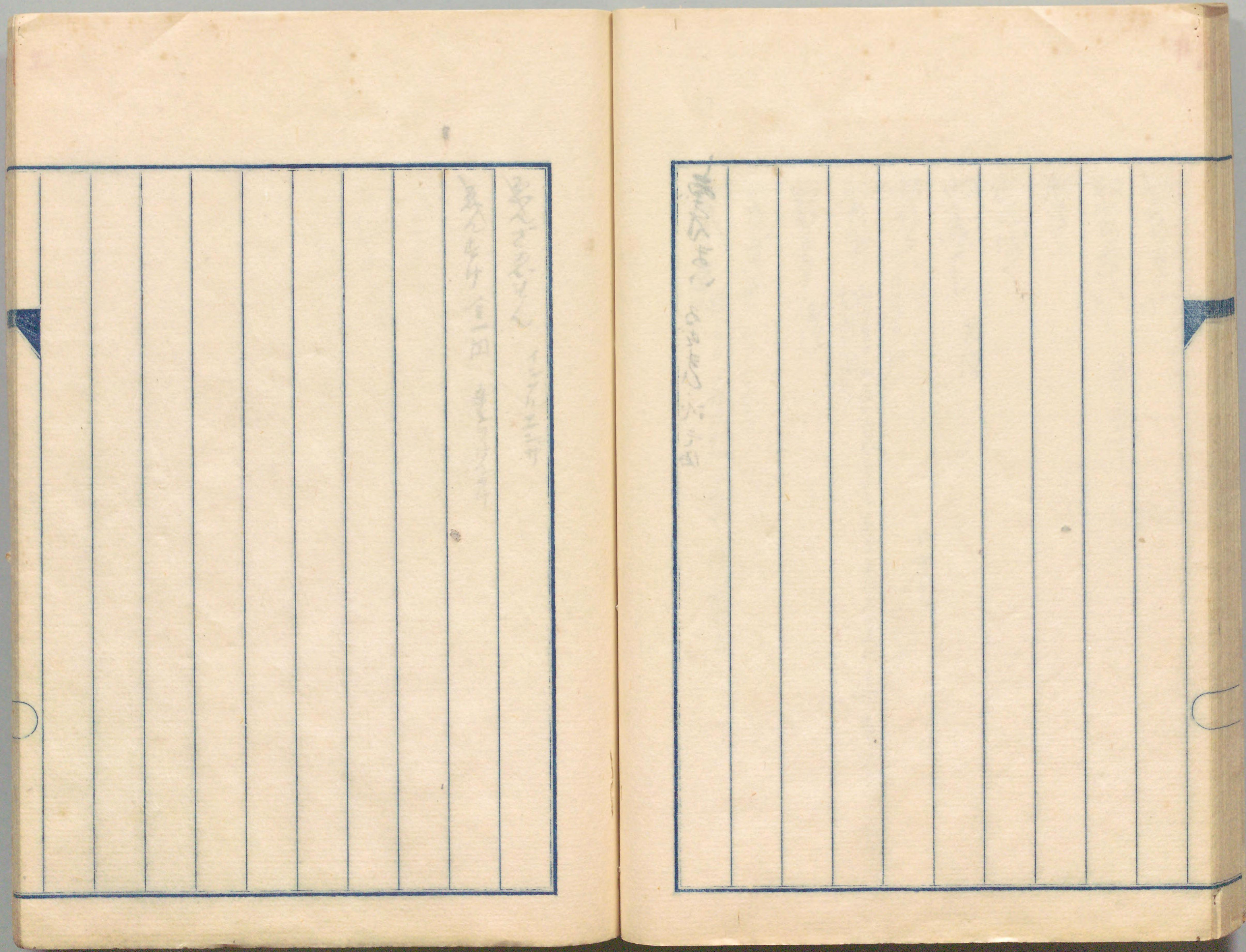


井

あまのまい  
乃在まひ  
此之海

あまのまい  
乃在まひ  
此之海  
あまのまい  
乃在まひ  
此之海  
あまのまい  
乃在まひ  
此之海  
あまのまい  
乃在まひ  
此之海  
あまのまい  
乃在まひ  
此之海  
あまのまい  
乃在まひ  
此之海



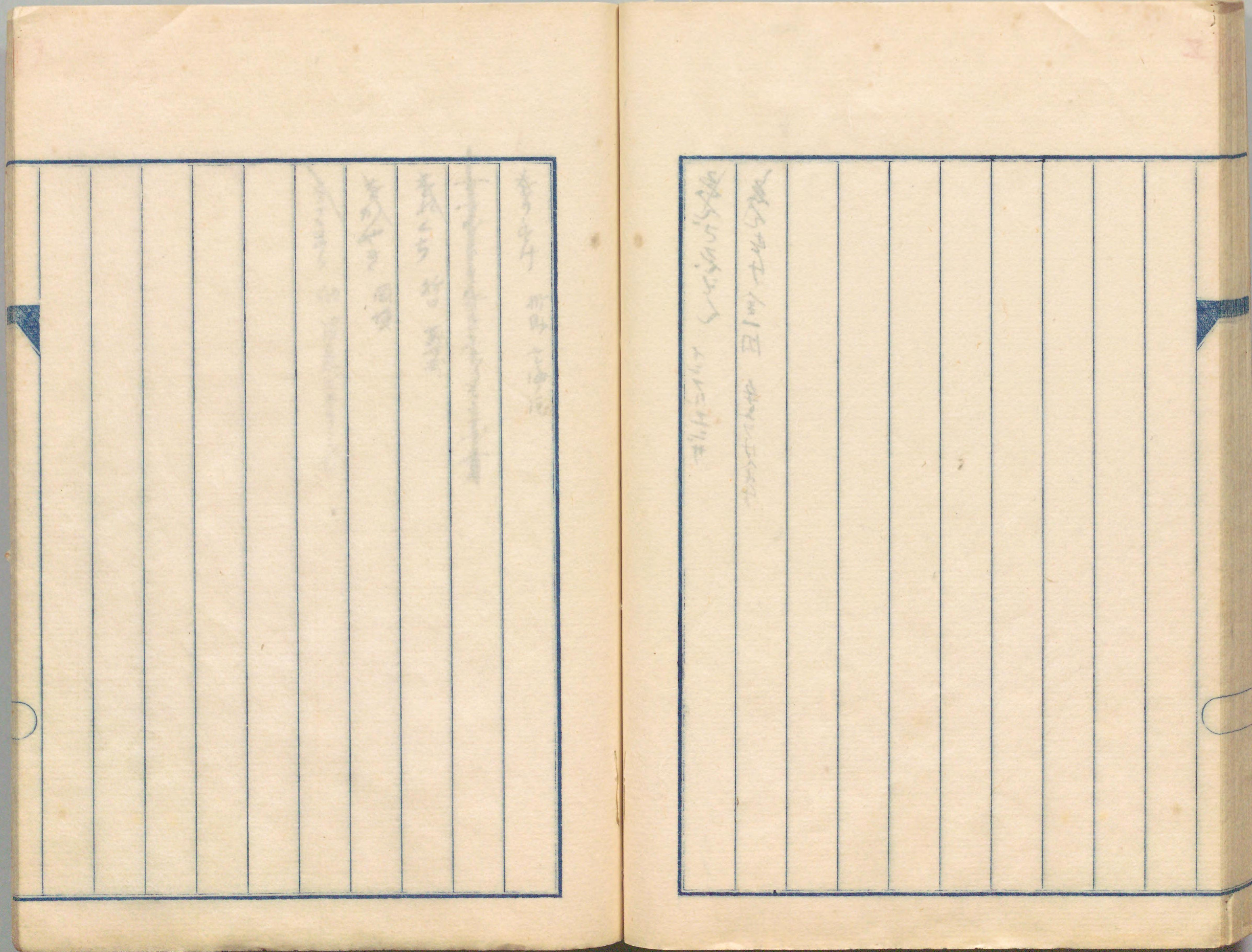




あんどん 一ノルエニサ

あんどん 金一円 手ラはあ







孝り出子 折財之海ノ記

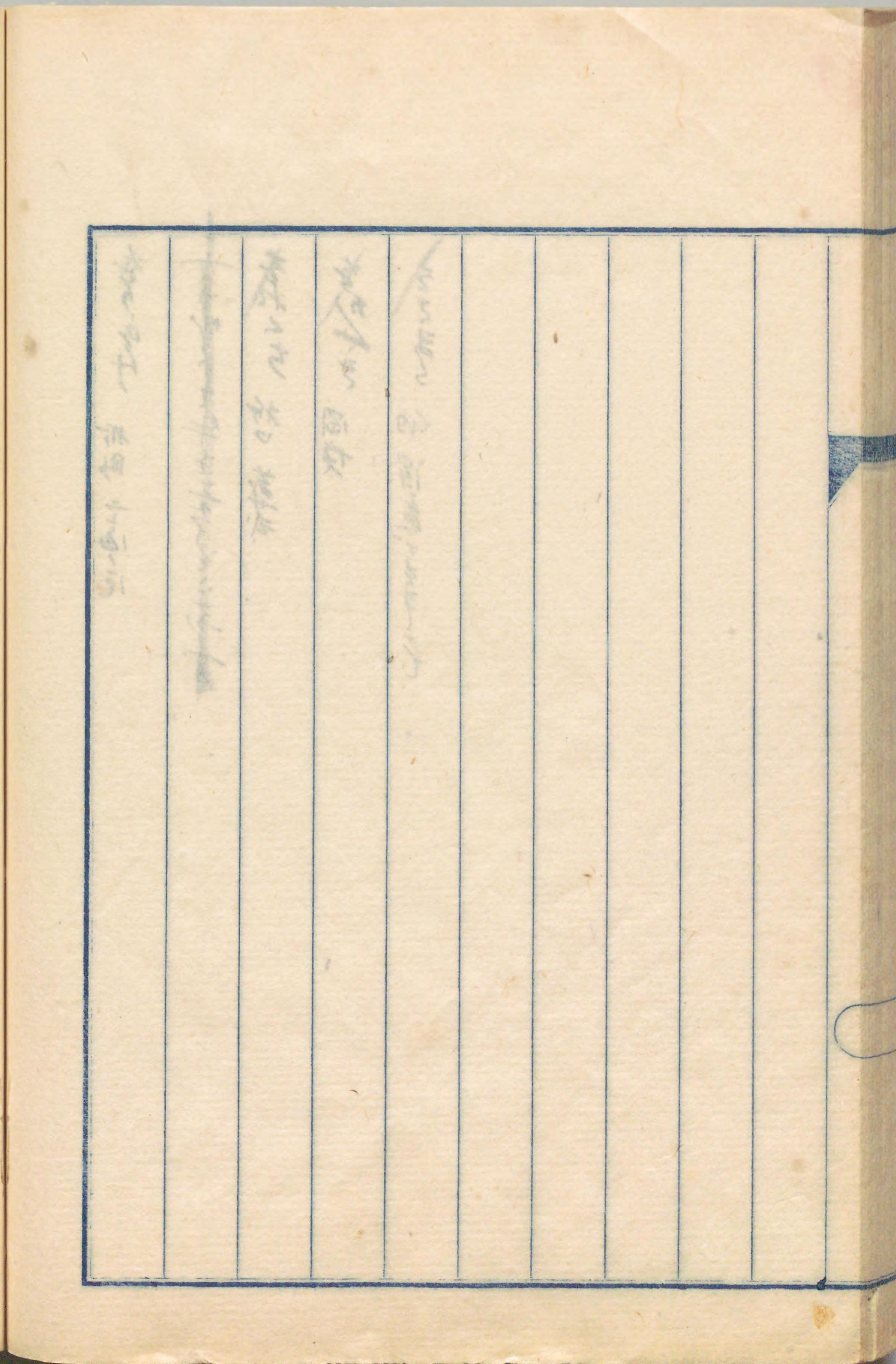
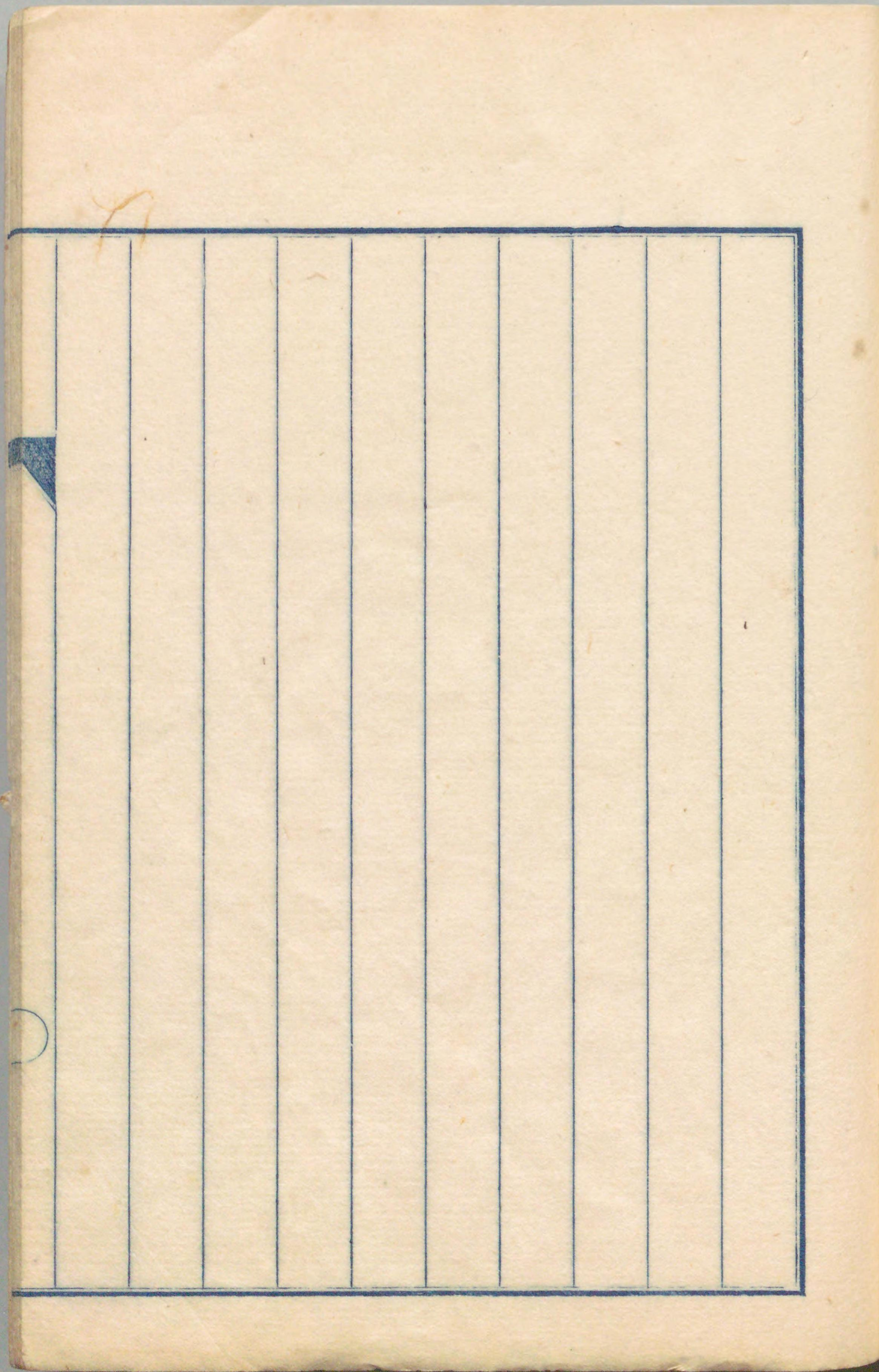
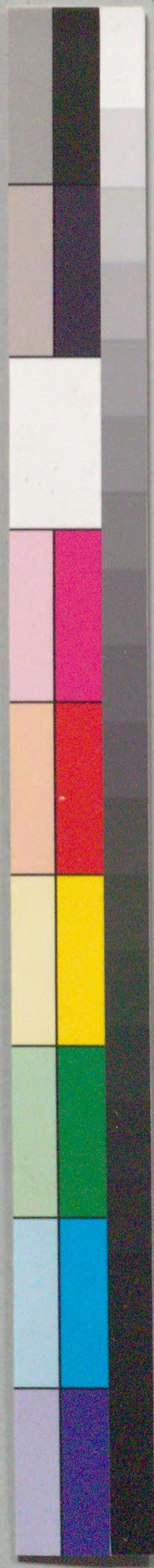
~~孝り出子 折財之海ノ記~~

孝り出子 折財之海ノ記

孝り出子 折財之海ノ記

孝り出子 折財之海ノ記

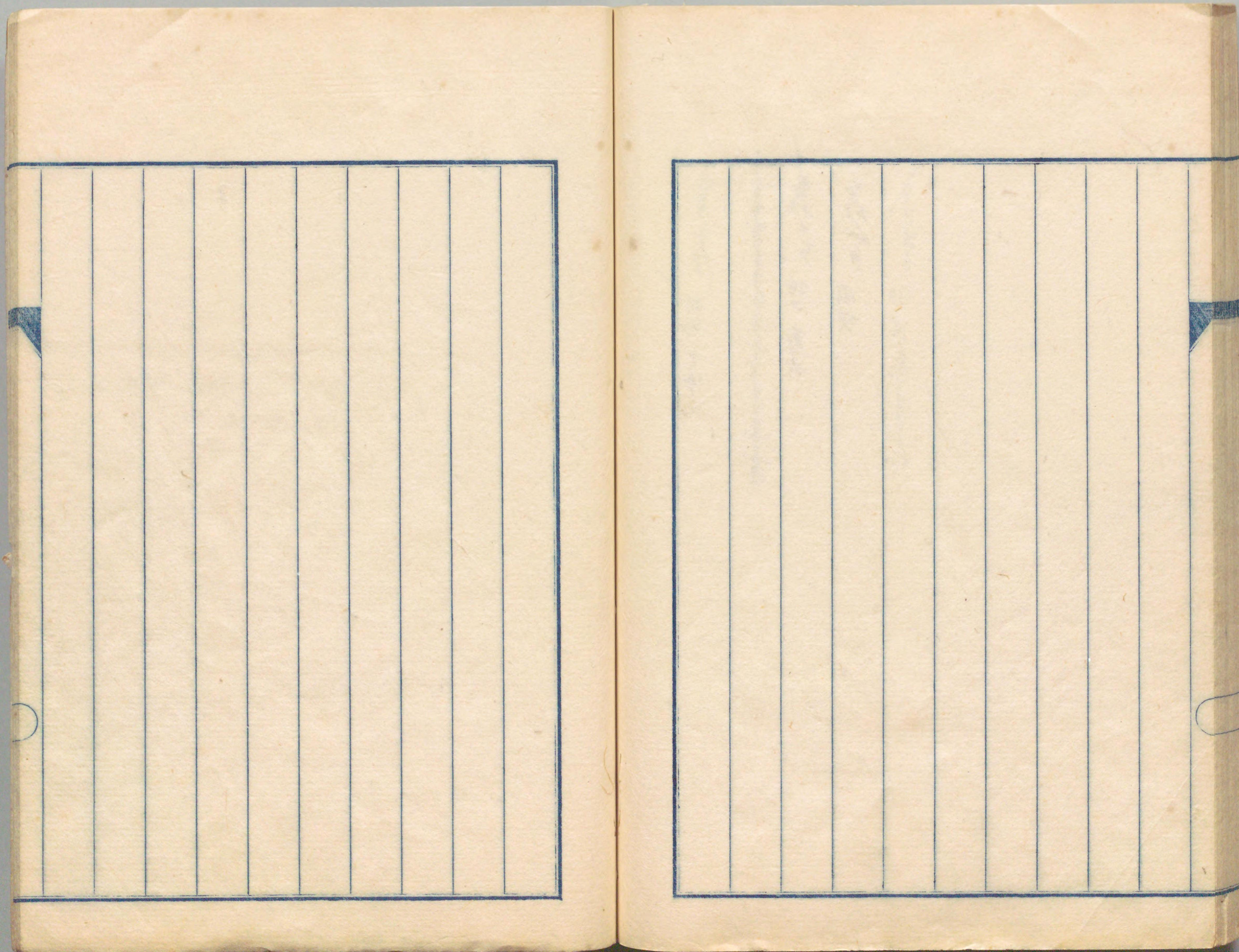
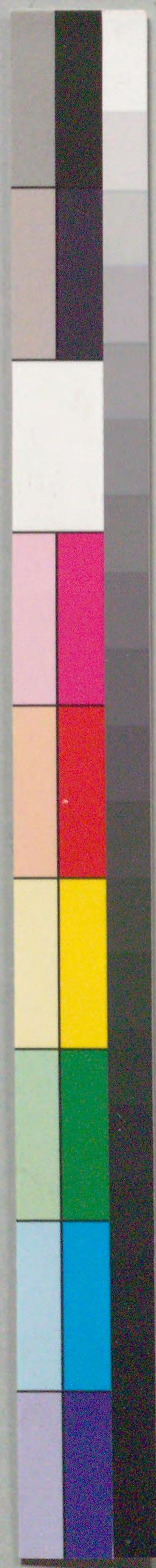




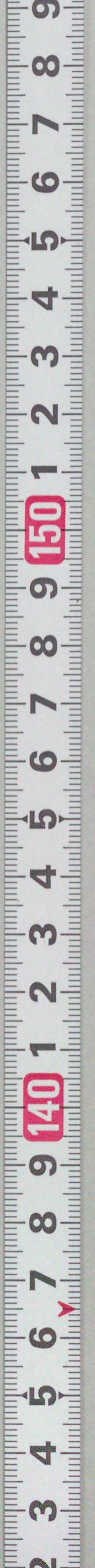
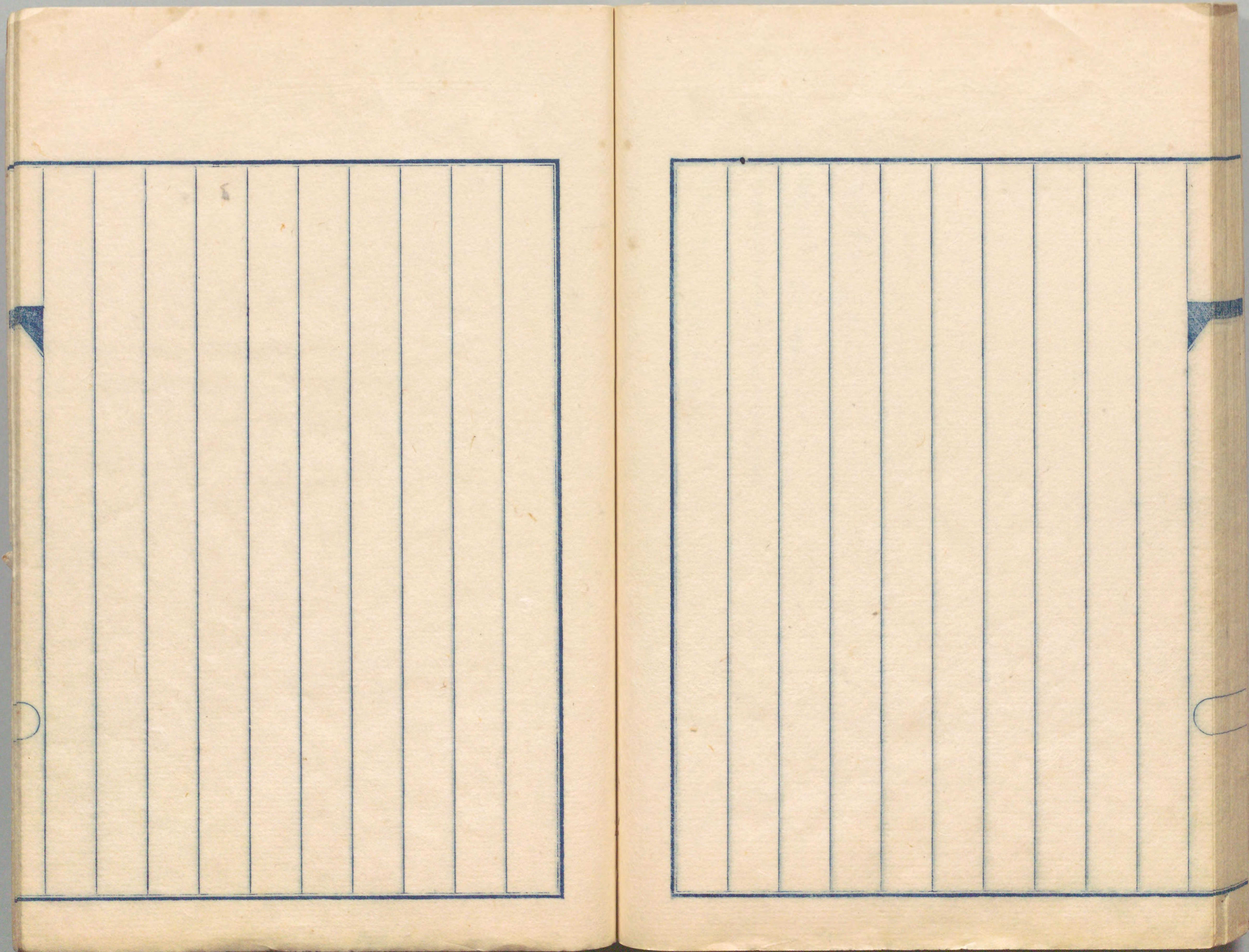
明治 14 年  
 11 月 20 日  
 東京 市 区  
 大塚 町



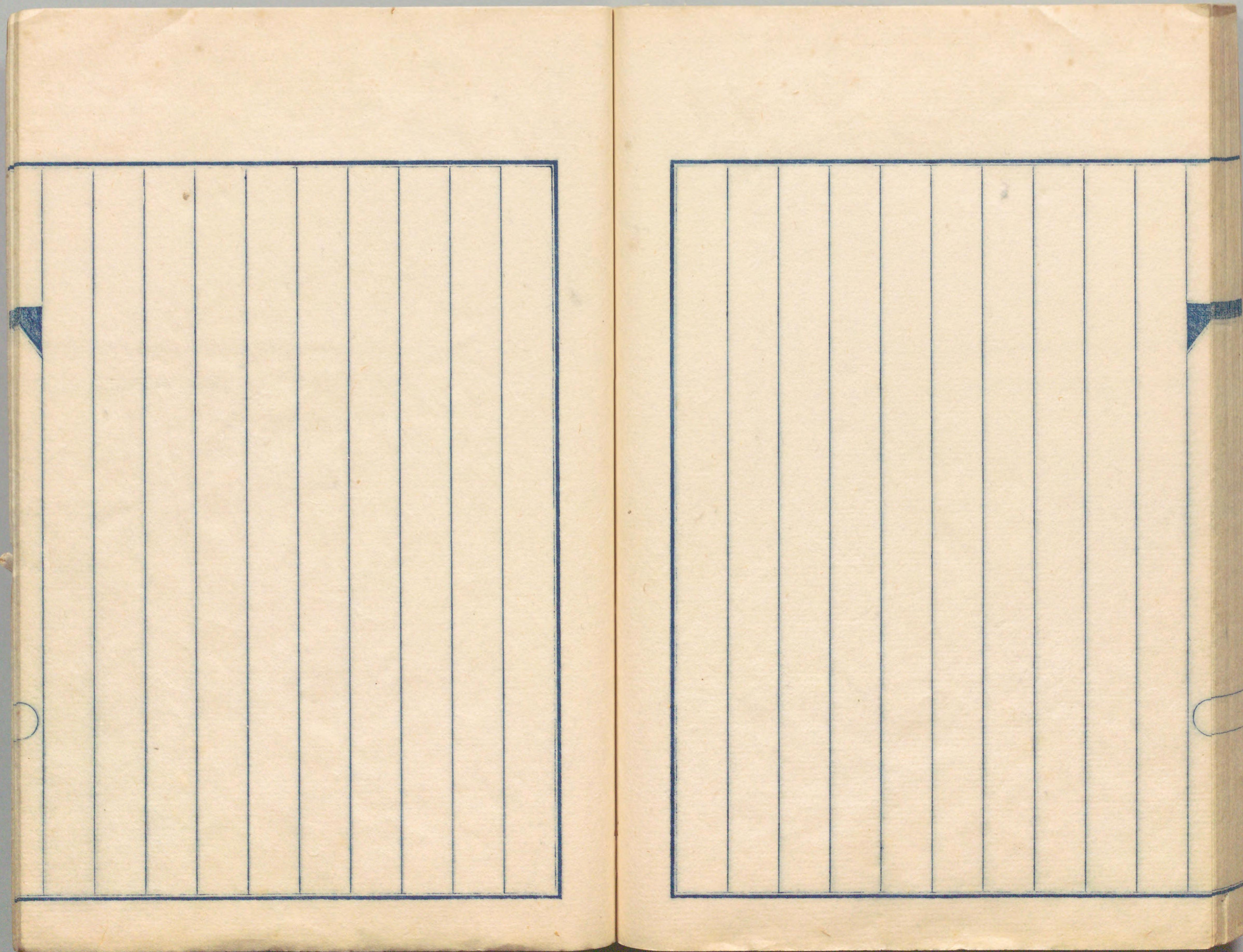
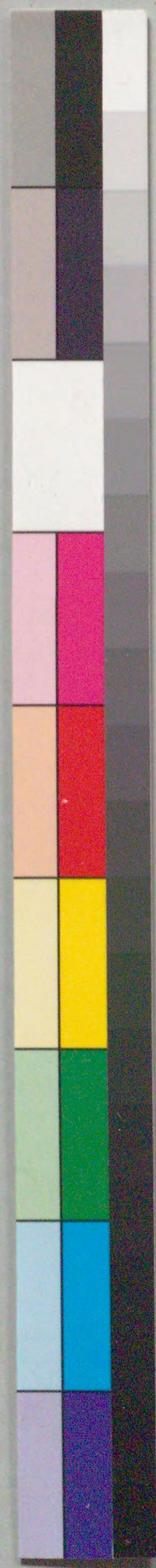




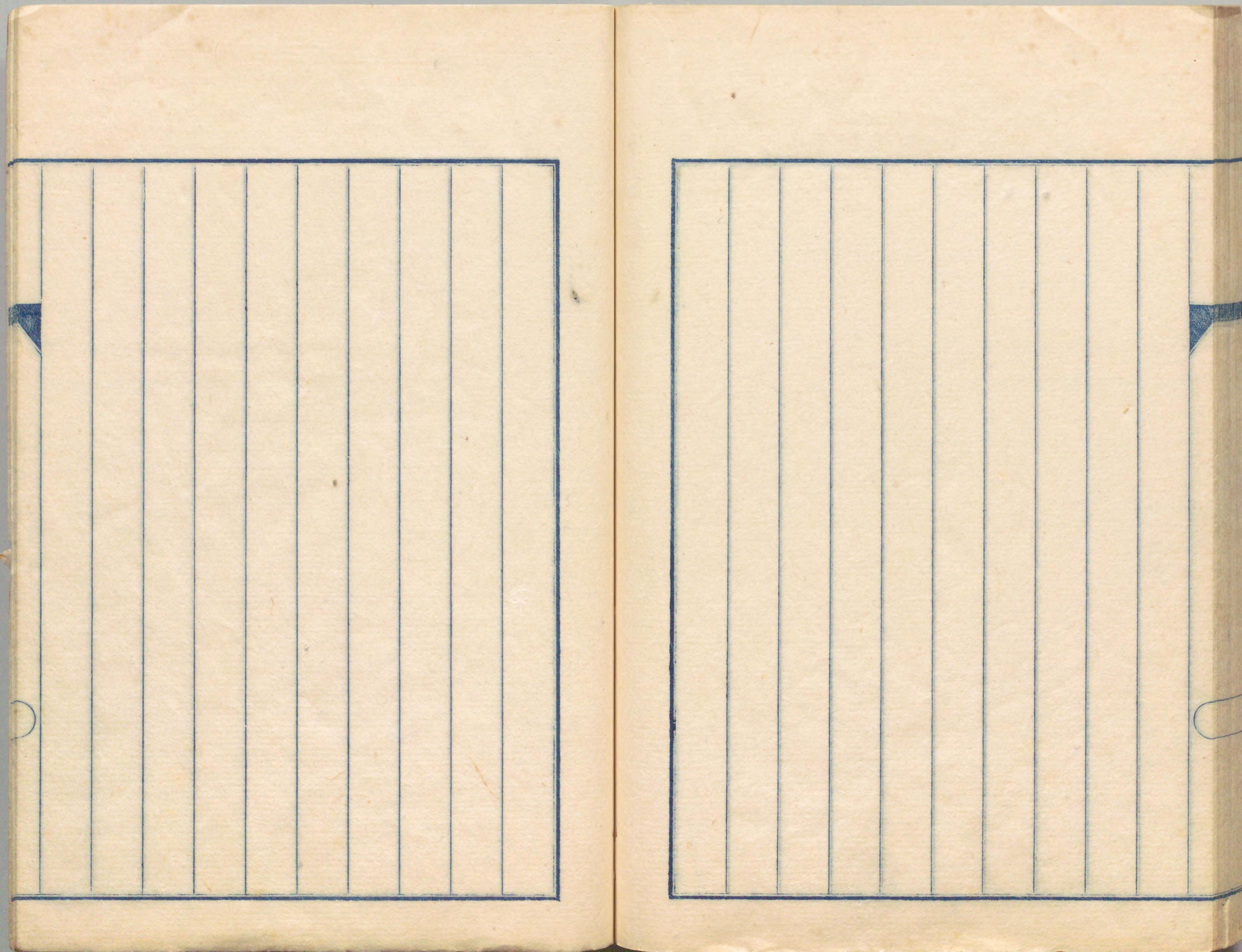
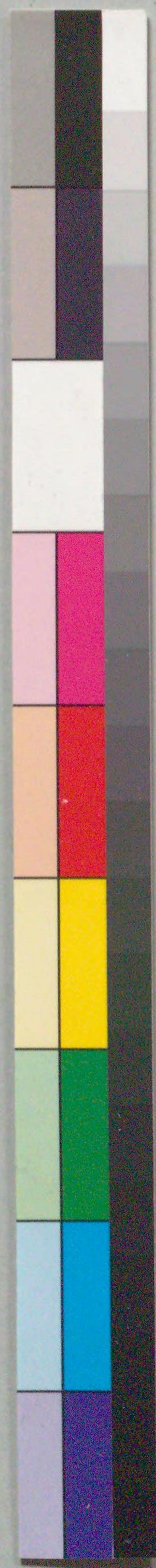




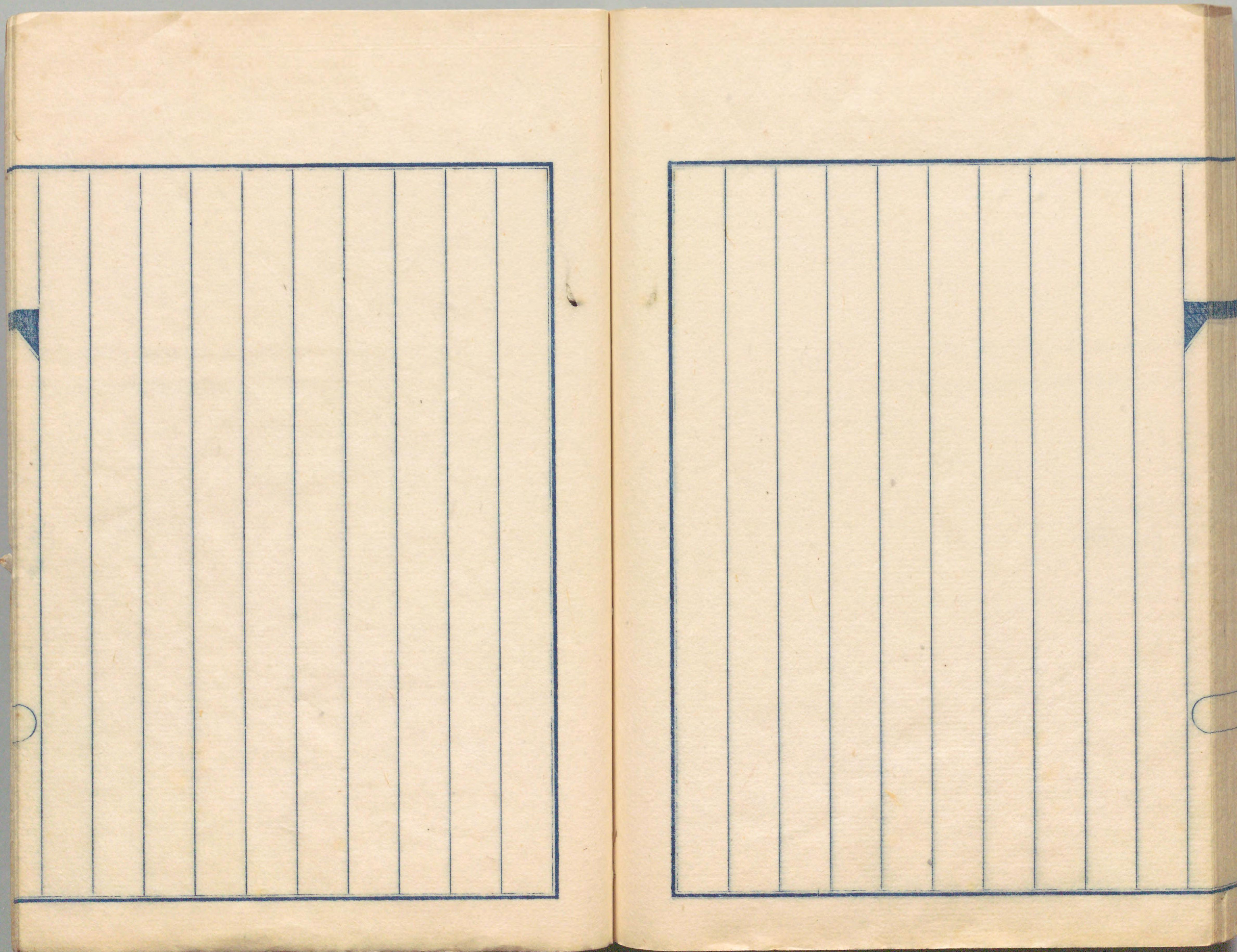
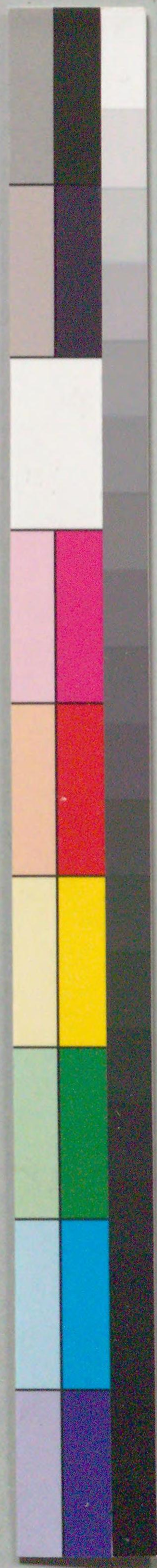




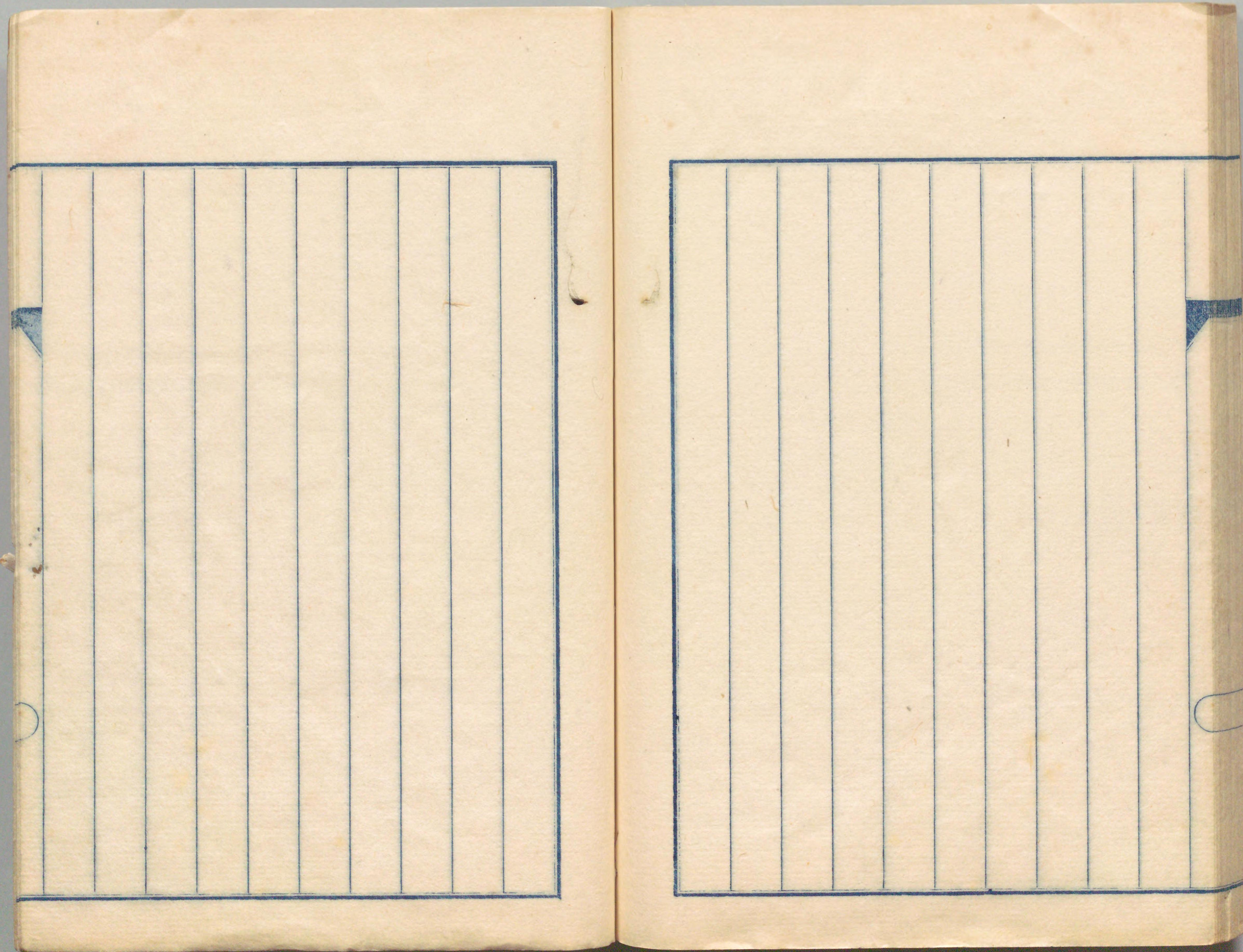




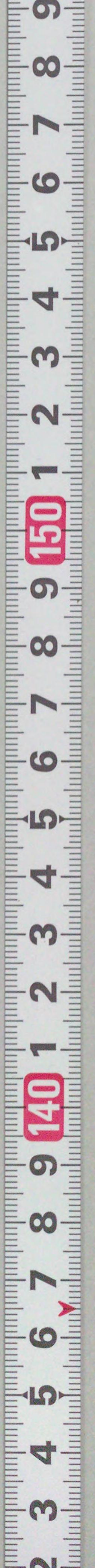
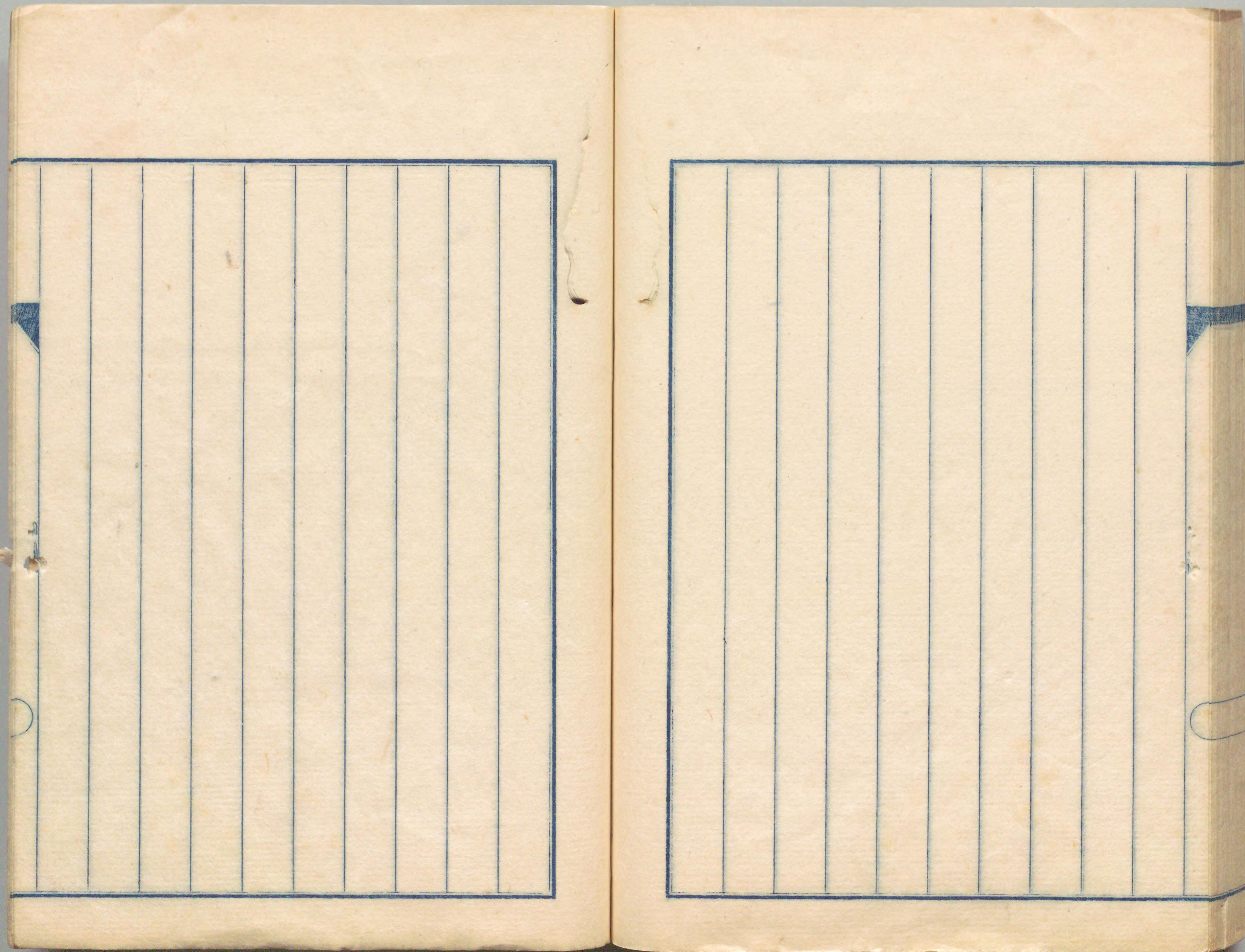
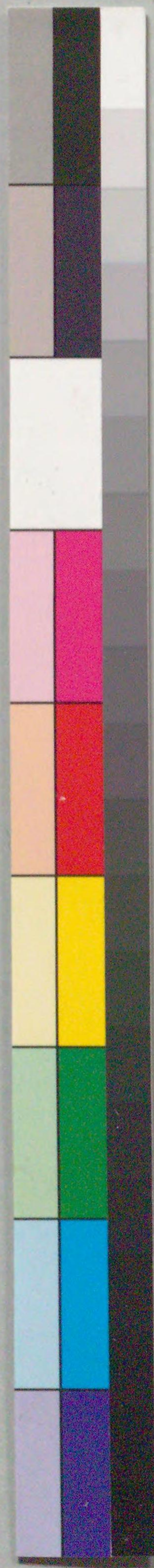




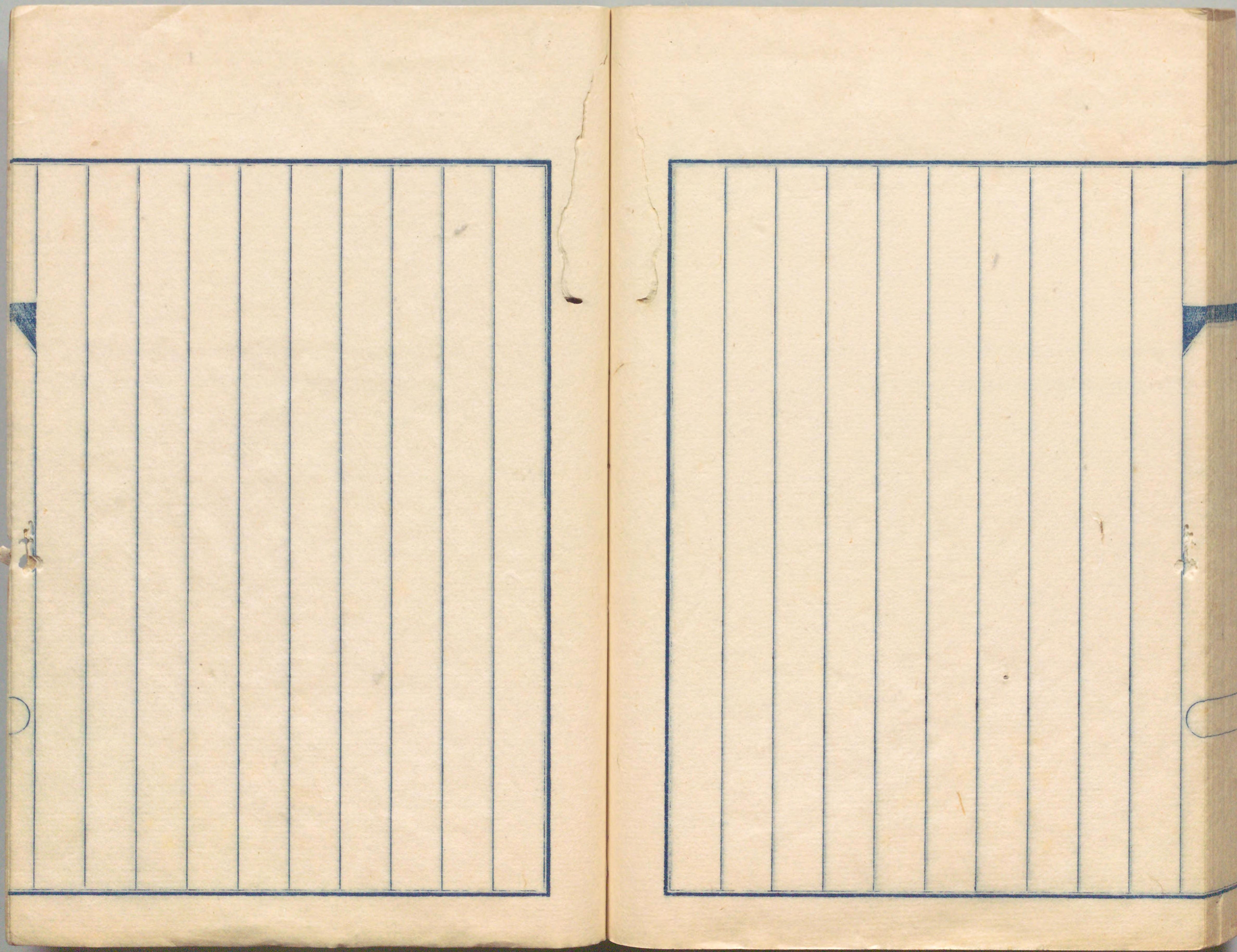
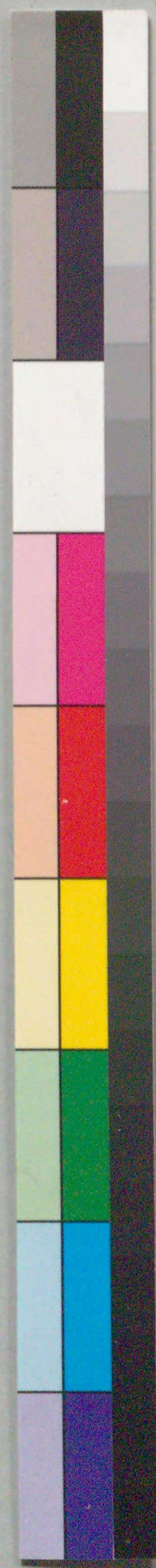




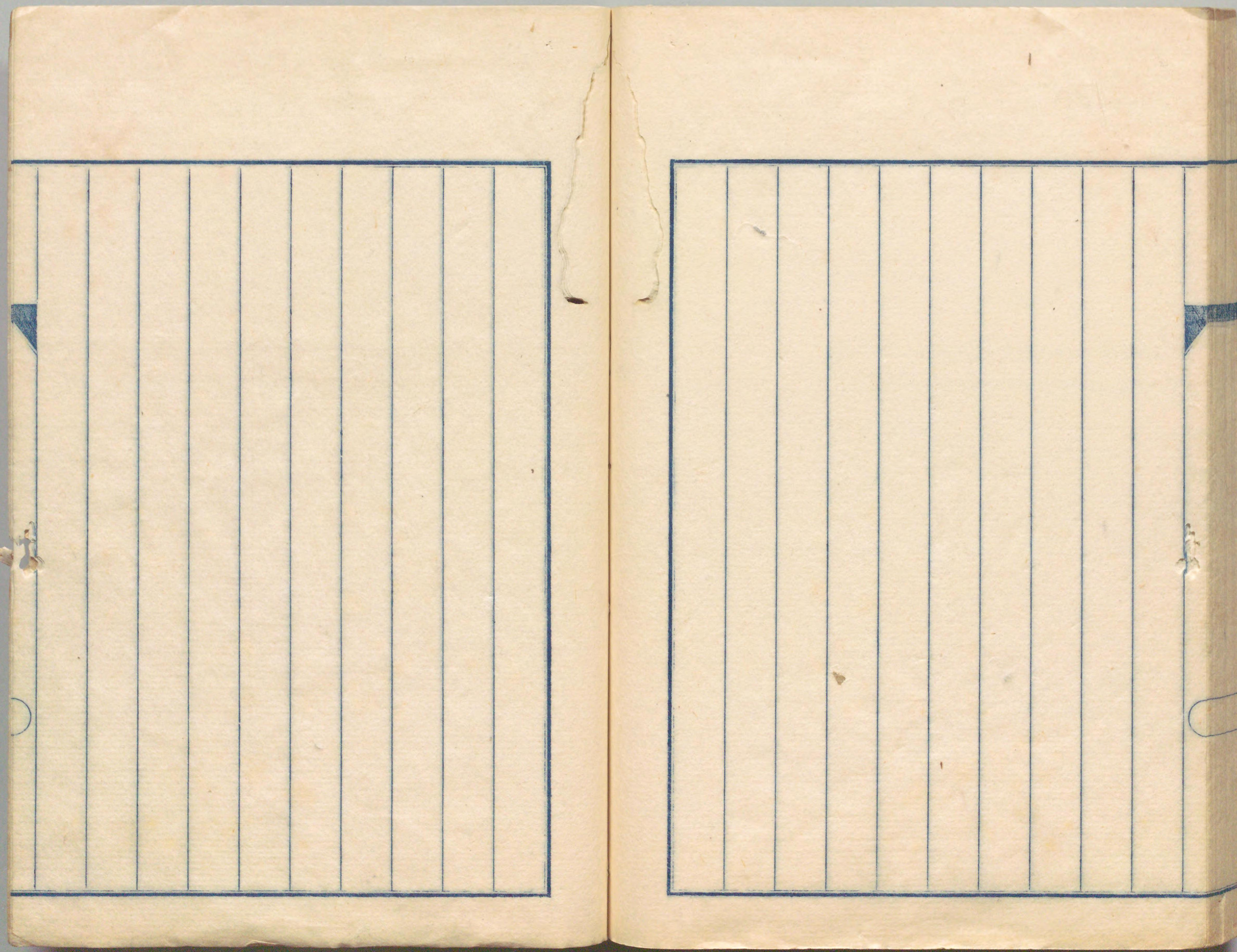




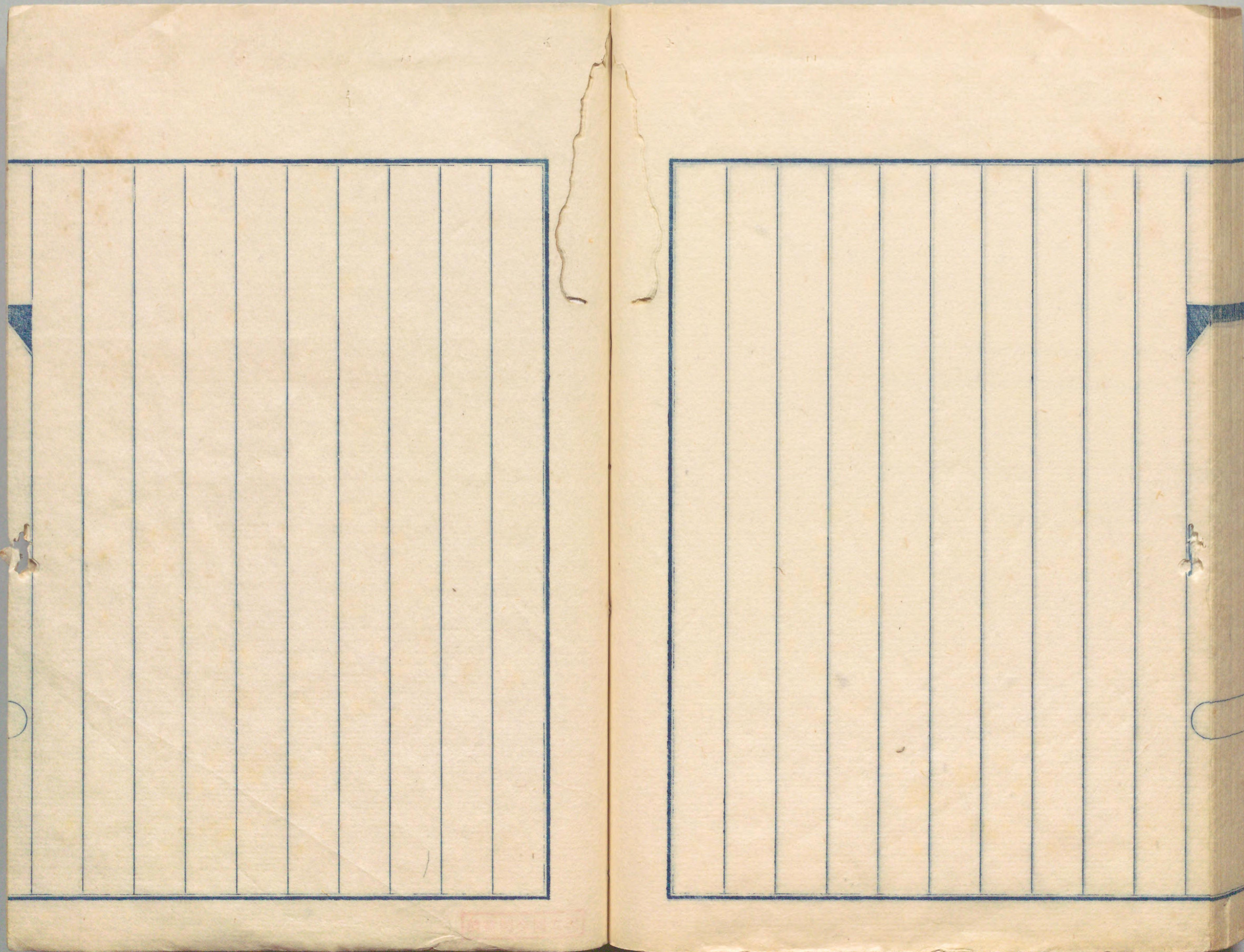
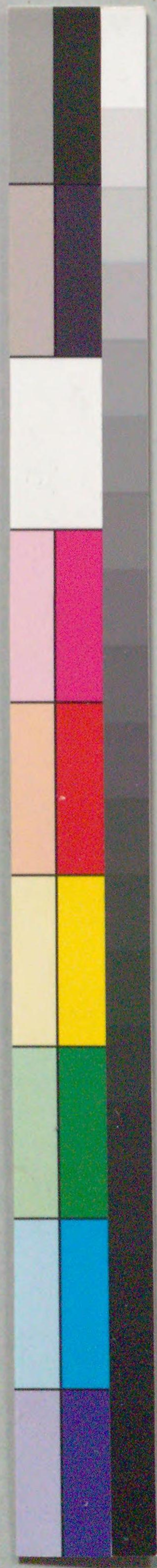




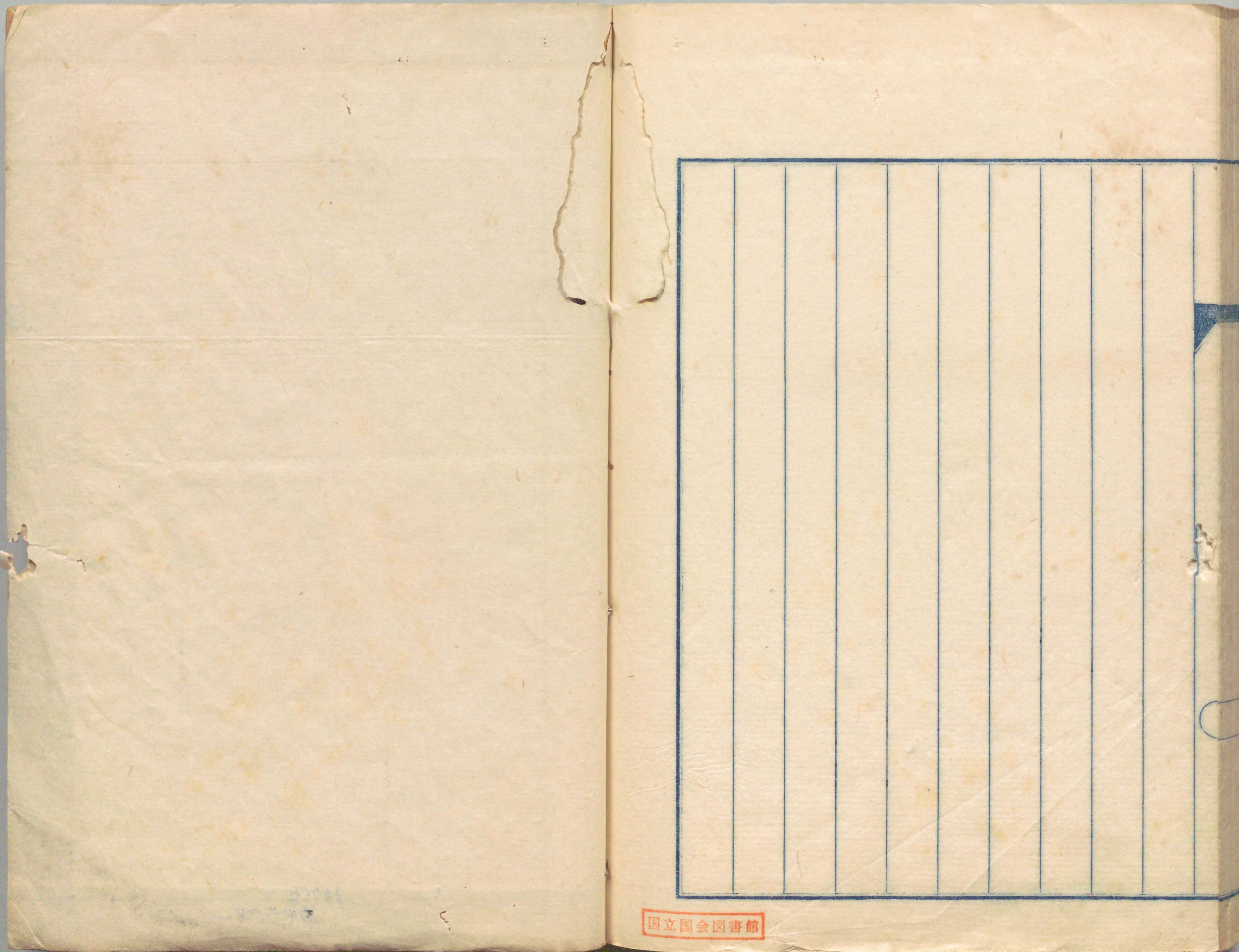








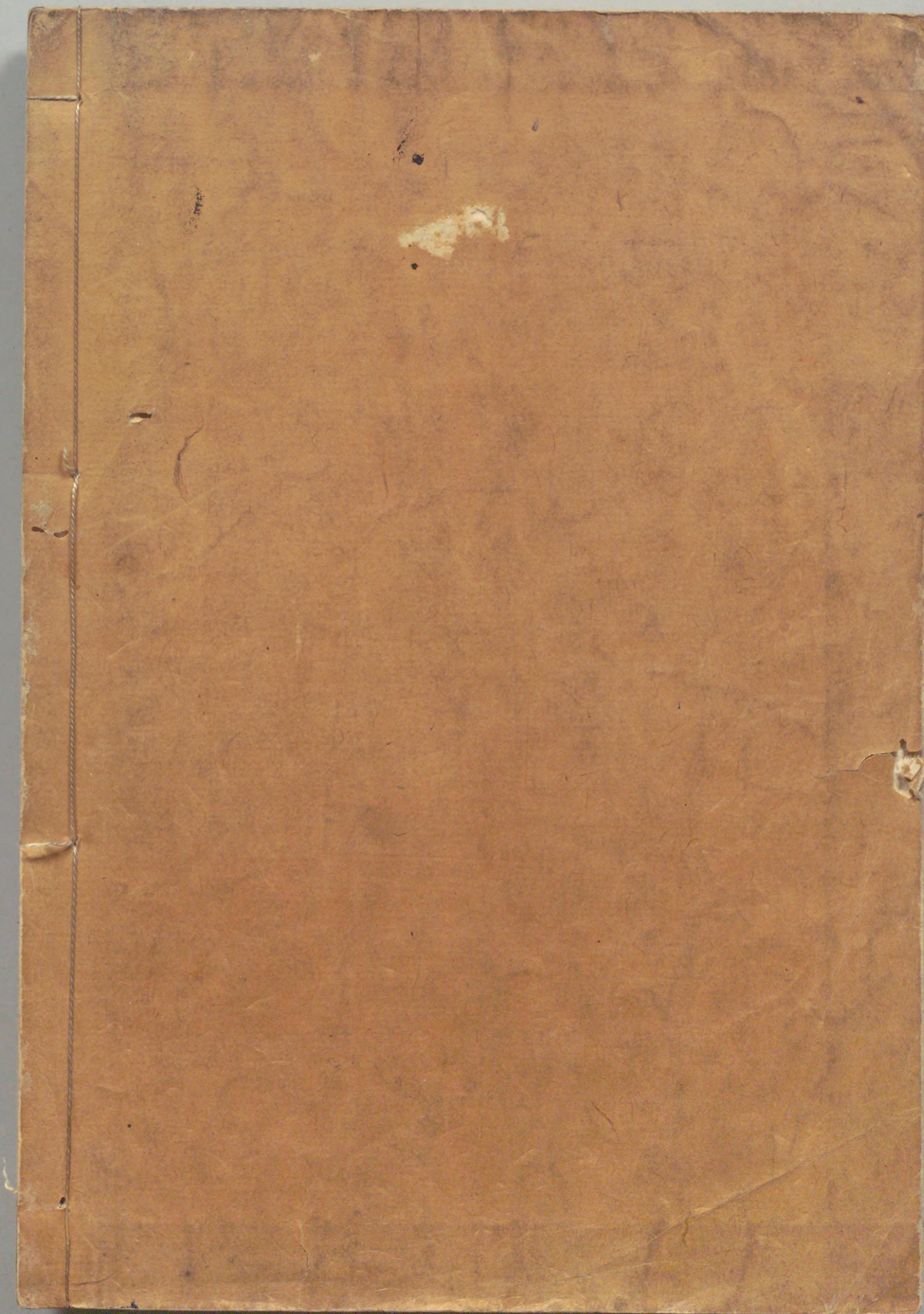




国立国会図書館







国立国会図書館 東京須覧具 W57-29

ガラス使用